

平成 22 年度	事業再評価シート	事業番号	6
事務事業名称	上下水道使用料等徴収事業	担当部名	上下水道局
		担当課名	サービス課
事業の種別	<input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度	担当者(内線)	樋口 1869

1 事業の位置付け

総合計画	第4編第1章第2節	市長マニフェストの記載	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
実施計画事業名		個別計画等の名称	
予算事業名		会計-款-項-目	企業会計 款 項 目
主な予算内訳			

2 事業の概要

根拠法令等	上田市水道条例、上田市下水道条例、上田市農業集落排水施設条例		実施期間	始	終
事業概要	実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助交付金(交付先:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(市が直接実施及び一部委託)			
	目的 (何のために)	重要なライフラインである上水道を安全で安定的に供給するため、また水環境の保全や快適な生活を提供する下水道の必要となる経費について、料金及び使用料を徴収する。			
	対象 (誰・何を対象に)	上水道及び公共下水道・農業集落排水使用者			
	内容 (手段・手法等)	上水道及び下水道の使用者(お客様)から、水道料金及び下水道使用料を口座振替、現金納付の納付方法により徴収する。			
	必要性	安全、安心な上水道の供給、また水環境の保全や快適な生活を提供するための下水道の必要となる経費を、使用者から上水道料金及び下水道使用料として徴収し、事業経営に充てる。			
	事業の背景 (これまでの経緯等)	上下水道事業は、市民の生命と暮らしを支える重要なライフラインであるが、景気の低迷等による社会経済環境の変化に伴い、水需要は大口需要者を中心に減少傾向にある。このような状況から、より効率的な事業経営を行う必要性があるので、料金・使用料等徴収業務についても、より一層の効率化が求められている。			
	庁内分権の状況	<input type="checkbox"/> 本庁のみで実施 <input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(本庁決裁有) <input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(センター内決裁のみ) <input checked="" type="checkbox"/> その他(本庁及び地域自治センター)			

3 事業費

(単位:千円)

	全体事業費	H20年度 決算額	H21年度 決算額	H22年度 予算額	H23年度 計画
支出(直接経費) (A)	0	66,286	61,028	66,882	67,558
(内訳)					
委託料		43,749	38,430	43,011	42,966
賃借料		4,798	4,748	4,738	4,738
その他(通信運搬費等)		17,739	17,850	19,133	19,854
収入	0	5,775,435	5,560,821	5,323,971	5,230,144
(内訳)					
国県支出金					
地方債					
その他(使用料、負担金等)		5,775,435	5,560,821	5,323,971	5,230,144
一般財源					
概算人件費 (B)	0	126,198	111,598	118,790	118,790
(人員)					
正規職員	-	15.80	13.80	14.80	14.80
嘱託職員	-	3.00	3.00	3.00	3.00
臨時職員	-	2.58	2.58	2.50	2.50
(内訳)					
正規職員 (7,300千円/人・年)	-	115,340	100,740	108,040	108,040
嘱託職員 (2,500千円/人・年)	-	7,500	7,500	7,500	7,500
臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	3,358	3,358	3,250	3,250
事業コスト合計 (A+B)	0	192,484	172,626	185,672	186,348

4 事業の効果を得るための活動計画・実績

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現年度分収納率の向上 ・収納のコストが低減できる口座振替の利用率向上 ・民間委託化の拡大 			
指標名	単位	H20年度目標	H21年度目標	H22年度目標
・現年度分収納率	%	98.9	99.0	99.0
・口座振替利用率	%	85.0	85.0	85.0
指標名	単位	実績	実績	実績
・現年度分収納率	%	98.8	98.9	H22.12月末 98.8 (H21.12月末 98.6)
・口座振替利用率	%	83.6	84.2	H22.12月末 84.2 (H21.12月末 84.0)

5 活動実績による事業の効果

平成20年度	<p>現年度分収納率の向上を主として取り組んできた結果、目標98.9%に対し、実績が98.8%と目標値には達しなかったものの、前年度より0.2%向上することができた。</p> <p>また、上下水道局の休日直業務の民間(シルバー人材センター)委託化を行った。</p>
平成21年度	<p>引き続き、現年度分収納率の向上に取り組み、目標値には達しなかったものの、前年度より0.1%向上することができた。検針業務における委託先安定確保のため、個人委託分は民間(シルバー人材センター)へ委託を進めた。また、口座振替利用率についても依頼書様式を追加し、前年度に比べ0.6%向上した。</p>

6 内部による事業仕分けの改革方針と取組状況

事業仕分け年度	平成19年度	導入目標年度	平成23年度
決定方針	賦課徴収業務の包括的な業務委託を図る。		
これまでの取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の方法により、新たな未納を発生させないために、現年度分収納率の向上を目標に取り組んできた結果、収納率が年々向上している。 ・ 収納のコストが低減できる口座振替利用納付を進めるため、A4複写式の口振依頼書に、はがき様式を追加し、お客様が申請しやすいように対応した。 ・ 休日直業務や検針業務の民間委託等を進めた。 ・ 料金徴収業務に係る職員体制を、正規職員でなくてもできる業務は嘱託職員及び臨時職員で対応している。 		
今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、現年度分収納率の向上を中心に取り組んでいる。 ・ 現行の料金等徴収に関わる事務処理の見直しを、地域自治センターと共に進めている。 		
来年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現年度分収納率や口座振替利用率の向上対策を進めるとともに、委託化にあたっての細部にわたる事務処理の見直しや、委託化している自治体の調査を進める中で、上田市ではどのような委託化が円滑にできるかを具体的に検討してまいりたい。 		

7 その他

事業を廃止したときの影響	安全、安心な上水道の供給、水環境の保全や快適な生活を提供するための下水道に必要となる経費の賦課徴収ができない。
特記事項(留意事項等)	

8 再評価(行政改革推進室：評価の見直し・今後の方向性)

<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 非常勤職員化	<input type="checkbox"/> 市民協働の推進	<input type="checkbox"/> 歳入確保
<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託化	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 指定管理者化	<input type="checkbox"/> 期限の設定	<input type="checkbox"/> 施設・設備の改善
<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理見直し	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 他事業と統合	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO等主体	<input type="checkbox"/> 地域内分権推進	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 移管・譲渡	<input type="checkbox"/> 市民(自治会等)主体	<input type="checkbox"/> 庁内分権推進	<input type="checkbox"/>
再評価の視点	先進自治体の状況を踏まえ、賦課徴収業務の包括的な業務委託を推進する。		
実施目標年度	平成 25 年度	方向性	賦課徴収業務の包括的な業務委託
概要	<p>上田市では民間にできることは民間にという方針に基づき、これまで民間活力の導入を推進してきた。</p> <p>上下水道料金の賦課徴収業務についても、民間委託が可能な分野と考えており、収納率や窓口サービスの向上に留意しながら先進自治体の委託形態を踏まえ、地域自治センターの窓口のあり方など、市の状況に応じた業務委託導入の方向性を早期に検討、決定し、賦課徴収業務の包括的な委託化を進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 委託形態の検討 ・平成24年度 委託化の準備 ・平成25年度 委託化 		